

2024年度 ICT教育センターからのお知らせ (教職員向け)



- ICT教育センターについて
- 認証サーバーについて(ユーザー名とパスワード)
- ネットワークについて
- Microsoft365(メール等)について
- コンピューター実習室/講義室のマルチメディア/その他

説明内容

■ICT教育センターについて

ICT教育センターについて、ホームページ

■認証サーバーについて(ユーザー名とパスワード)

認証サーバー(ユーザー名とパスワード)

■ネットワークについて

ネットワークの概要、接続方法、注意点、ネットワーク設定
ブラウザ、ウイルス対策ソフト、統計解析ソフト
学内で遠隔講義を行う際の注意点、NASの利用について

■Microsoft 365(メール等)について

Microsoft 365について、Webメール、メーリングリストについて、
迷惑メール、フィッシングメールアカウントの不正利用および漏洩について
アカウントの乗っ取りについて

■コンピューター実習室/講義室のマルチメディア/その他

コンピューター実習室について、コンピューター実習室/図書館/講義室の
パソコンについて、学内LAN(学内ネットワーク認証サービス/無線LAN)
IEEE 802.1X認証の接続方法について、公衆無線LAN、
ICT教育センター申請システムについて、講義室のマルチメディアについて、問い合わせ

説明内容

■ICT教育センターについて

ICT教育センターについて、ホームページ

■認証サーバーについて(ユーザー名とパスワード)

認証サーバー(ユーザー名とパスワード)

■ネットワークについて

ネットワークの概要、接続方法、注意点、ネットワーク設定
ブラウザ、ウイルス対策ソフト、統計解析ソフト
学内で遠隔講義を行う際の注意点、NASの利用について

■Microsoft 365(メール等)について

Microsoft 365について、Webメール、メーリングリストについて、
迷惑メール、フィッシングメールアカウントの不正利用および漏洩について
アカウントの乗っ取りについて

■コンピューター実習室/講義室のマルチメディア/その他

コンピューター実習室について、コンピューター実習室/図書館/講義室の
パソコンについて、学内LAN(学内ネットワーク認証サービス/無線LAN)
IEEE 802.1X認証の接続方法について、公衆無線LAN、
ICT教育センター申請システムについて、講義室のマルチメディアについて、問い合わせ

ICT教育センターについて

本学の情報ネットワーク、コンピューター実習室/図書館/
講義室のパソコン、講義室マルチメディアを管轄している部署

お知らせや利用できる環境などが変更になったら、
ICT教育センターのホームページやA-Portalを通じて連絡します

本学のホームページの下方の「学内施設案内」を探し



本日説明資料もホームページやA-Portalにて公開します

ICT教育センターのホームページ

| | | |
|--|-------------------------|--|
| お知らせ・メンテナンス・障害情報 Webメール コンピューター実習室/図書館/講義室 | 無線LAN 申請書一覧 手順書一覧 | 統計解析ソフト ウイルス対策ソフト バックナンバー ICT教育センターについて |
|--|-------------------------|--|

■お知らせ・メンテナンス・障害情報
■Webメール

- 申請書一覧
 ↓ ICT教育センター申請書システム
 ↓ 認証サーバーのユーザー登録申請書
 (専任教職員向け, 非専任教職員向け, 本学関係者)

■コンピューター実習室/図書館/講義室

- ↓ コンピューター実習室利用について
- ↓ コンピューター実習室/図書館/講義室/パソコンの利用について
- ↓ コンピューター実習室のプリンタについて
- ↓ コンピューター実習室/図書館/講義室/パソコン一覧
- ↓ 大学ファイルサーバー (共有フォルダ) の利用について
- ↓ パスワード変更方法について

■学内LAN

- ↓ 学内LANについて
- ↓ 学内ネットワーク認証サービス (IEEE802.1x認証/Web認証)
- ↓ 無線LANについて
- ↓ au Wi-Fi(公衆無線LAN)

■手順書一覧

- ↓ 認証サーバーについて (利用者登録・削除等)
- ↓ ネットワークについて (情報ネットワークの概要)
- ↓ 大学ファイルサーバー (共有フォルダ) について
- ↓ ネットワーク設定手順書
- ↓ コンピューター名/ワークグループ名 確認・変更設定手順書
- ↓ HPアドレス確認手順書
- ↓ HPアドレス設定手順書
- ↓ Microsoft365について
- ↓ メールデータの移行について Microsoft365
- ↓ メールリンクリストについて
- 講義マルチメディアについて
- ↓ 講義室マルチメディア説明書 (全体)
- ↓ 講義室マルチメディア説明書 (白子1号館用)
- ↓ トリゼンマウス(ELAP2)説明書
- ↓ レーザーポインタ(ELP-G10)説明書
- ↓ レーザーポインタ(ELP-G30)説明書
- ↓ 書面カメラ(MO-1W)説明書
- ↓ Blu-ray(DMP-BD77)説明書 (千代崎)
- ↓ Blu-ray(DMP-BD79)説明書 (千代崎/白子346号館)
- ↓ Blu-ray(DMP-BD85)説明書 (白子1号館用)
- ↓ 講義室画像配信システムについて
- ↓ 講義室/パソコンのZoomの対応について

- 統計解析ソフト
- ウイルス対策ソフト
- バックナンバー
- ICT教育センターについて

説明内容

■ICT教育センターについて

ICT教育センターについて、ホームページ

■認証サーバーについて (ユーザー名とパスワード)

認証サーバー (ユーザー名とパスワード)

■ネットワークについて

ネットワークの概要、接続方法、注意点、ネットワーク設定
ブラウザ、ウイルス対策ソフト、統計解析ソフト
学内で遠隔講義を行う際の注意点、NASの利用について

■Microsoft 365 (メール等) について

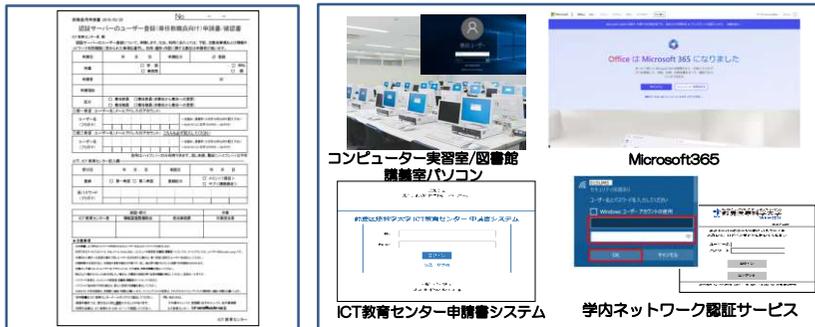
Microsoft 365について、Webメール、メールリンクリストについて、
迷惑メール、フィッシングメールアカウントの不正利用および漏洩について
アカウントの乗っ取りについて

■コンピューター実習室/講義室のマルチメディア/その他

コンピューター実習室について、コンピューター実習室/図書館/講義室の
パソコンについて、学内LAN (学内ネットワーク認証サービス/無線LAN)
IEEE 802.1X認証の接続方法について、公衆無線LAN、
ICT教育センター申請システムについて、講義室のマルチメディアについて、問い合わせ

認証サーバーについて (ユーザー名とパスワード)

Active Directoryでの統合認証形式をとっており、配付の認証サーバーのユーザー登録 (専任教職員向け) で
コンピューター実習室/図書館/講義室/パソコン/Microsoft365 (メール等) /
ICT教育センター申請書システム/学内ネットワーク認証サービス (IEEE802.1x認証/Web認証)
連携サービス (A-Portal、予算申請システム、教職員用学内コピー・プリンター等) が利用できます。
連携サービスについては管理部署にお問い合わせをお願いします。
パスワードを変更したい場合は、コンピューター実習室/図書館/講義室/パソコンで変更することが可能です。



認証サーバーのユーザー登録が未処理の方は
申請書を、ICT教育センター申請書システムでの申請をお願いします
非常勤等の非専任から専任に変更する場合は、区分の欄の専任への変更をチェックしていただき、既存のアカウントを記入してください。(パスワード、第二希望は不要です。) 変更したい場合は新しいアカウントを記入して提出してください。A-Portalについては教務課に相談をお願いします。

説明内容

■ICT教育センターについて

ICT教育センターについて、ホームページ

■認証サーバーについて (ユーザー名とパスワード)

認証サーバー (ユーザー名とパスワード)

■ネットワークについて

ネットワークの概要、接続方法、注意点、ネットワーク設定
ブラウザ、ウイルス対策ソフト、統計解析ソフト
学内で遠隔講義を行う際の注意点、NASの利用について

■Microsoft 365 (メール等) について

Microsoft 365について、Webメール、メールリンクリストについて、
迷惑メール、フィッシングメールアカウントの不正利用および漏洩について
アカウントの乗っ取りについて

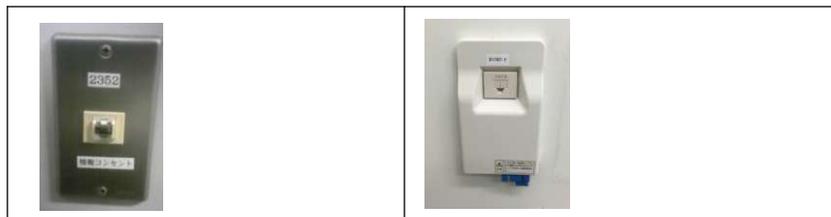
■コンピューター実習室/講義室のマルチメディア/その他

コンピューター実習室について、コンピューター実習室/図書館/講義室の
パソコンについて、学内LAN (学内ネットワーク認証サービス/無線LAN)
IEEE 802.1X認証の接続方法について、公衆無線LAN、
ICT教育センター申請システムについて、講義室のマルチメディアについて、問い合わせ

ネットワークの概要

- 学内LANの速度：
 - 基幹部分1Gbps、末端（1 Gbps）場所によって異なります可能性もあります。
 - キャンパス間通信：10Gbps
- SINET：
 - 三重DCのノードに10Gbpsにて接続

情報コンセントを利用して、学内LANに接続します。
LANケーブルはカテゴリ5e以上であれば問題ないが
カテゴリ6が望ましい。



ネットワークの概要

- ネットワークのサービスについて
 - 学内→学外への利用できるポート・サービスは以下の通りです。
 - 教員
 - HTTP、HTTPS、FTP
 - POP、POPS、IMAP、IMAPS
 - SMTP、SMTPS、SMTP/Submission
 - TELNET、SSH、PPTP、NTP
 - 他の場所（WEB認証、事務等）
 - HTTP、HTTPS、FTP
 - POP、POPS、IMAP、IMAPS
 - SMTP、SMTPS、SMTP/Submission
 - NTP

ネットワークの概要

悪意ある外部サイトへの通信遮断について

外部からのウィルスの侵入、データの漏えい・書き換えなどの不正アクセスを対応するため、悪意ある外部サイトへの通信遮断を行っています。
悪意あるサイトは、ポットネットサイト（漫画口ウのサイト等）、C&Sサーバ等をはじめとするもので意図的にアクセスされるだけではなく、通常のWebサイトに差し込まれている広告サイトが、悪意あるサイトである場合もあります。

悪意あるサイトと分類された場合は、警告メッセージ等は表示されず、ページが表示されない旨のブラウザエラーメッセージが表示される事となります。

これまでアクセスできていたサイトや学内LAN以外で利用できるサイトが、アクセスできない場合には、当該サイトは悪意あるサイトとして分類されている事となりますので、利用を控えて頂くようお願い致します。

万一、教育研究上必要なサイトに対してアクセスできなくなった場合には、ICT教育センターにて内容確認のうえホワイトリストへの追加対応を行いますので、アクセス先サイトURL、アクセス試行日時（できるだけ詳細に）などの情報をICT教育センターまでご連絡下さい。

ネットワークの概要

- リモートアクセス（SSL-VPN）のサービスについて 教職員のみ

学外から学内ネットワークに接続するリモートアクセス（SSL-VPN）が利用できます。

現時点でのサービス対象は教職員のみ、
サービス範囲は、ファイルサーバー、メールサーバー、ホームページの学内専用コンテンツ、SPSSです。

- 注意点は
- 1.接続数は、理論上、最大200です。
 - 2.利用方法がご家庭の使用環境に依存するので、問い合わせにはサポートできない。
 - 3.MacOS環境や一部のWindows環境では動かないことがある。
 - 4.学外のサービスなので、学内では使用できない。
- 以上のような注意点があります。ただ外部に依存する環境でもあるので繋がらなかった場合は、ご容赦願います。

それから、回線の接続数は最大200ですが、速度を考えると、現実的には若干少なくなります。このこともあって、現在、学生の利用は停止しています。
また、SSL-VPNは、現時点で安全な通信として国も推奨する通信規格ですが、ネットワーク経由の通信で絶対に安全な方式などはないので、特に個人情報等を伴うものについてはパスワードを付けるなど情報をやり取りするときの基本エチケットを守るように心掛けてください。

具体的な手順は、セキュリティ上の観点から
A-Portalおよび教職員メールリングリストにて連絡します。

接続方法

パソコン側



LAN側



情報コンセント



LANケーブル

カテゴリ5e以上であれば問題ないが
カテゴリ6が望ましい

電話線と間違わないように気をつける。
端子（金部分）が2本が電話線、8本がLAN

LANケーブルをパソコンに接続することでDHCPサーバーより自動的に必要な情報は割り振られます。
以前の職場などで固定IPアドレスを利用の方は、自動に変更をお願いします。

13

パソコンと情報コンセントをLANケーブルで接続 接続する際の注意

無線LAN（ルータ）、複数台利用する場合

■ループ

- HUBに接続する際、下記のような接続を行うと、ループ現象となり、ネットワークが停止状態になります。
絶対に図のような接続を行わないでください。
このような場合、全学に影響がでる場合があります。



1本のケーブルがHUBに接続されている
絶対に行わないでください

14

パソコンと情報コンセントをLANケーブルで接続 接続する際の注意

無線LAN（ルータ）、複数台利用する場合

■無線LAN（ルータ）

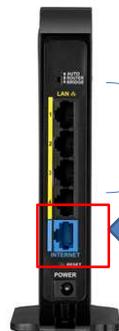
無線LANについては、セキュリティの設定を必ずお願いします。
（暗号化、MACアドレスフィルタリング）

設定方法は、無線LAN等の機器の説明書をご確認ください。
またブリッジ機能が利用できるものを購入し、ルータ機能の利用は行わないでください。
ブリッジモードで利用してください。ルータモードの場合、ファイルサーバーにアクセスできない等一部のサービスが利用できません。

学内LANの接続は internet(WAN)側に接続してください。

■DHCPサーバー

全体でDHCPサービスで用意していますので個別のルータ機能のDHCPサーバーを利用し、DHCPが学内LAN側に接続されている場合は、他の方が利用できなくなる可能性があります。上記無線LANにはルータ、DHCP等が付属されている場合が多いので、ご利用される場合は、注意してください。
各自でのDHCPサーバー機能は行わないでください
このような場合、全学に影響がでる場合があります。



パソコン側
こちら側に壁コンセントからのケーブルを刺さないでください。

学内LAN

15

ネットワークの設定について

コンピューターのネットワークの設定方法は、ネットワーク設定手順書を参照してください。

IPアドレスは、DHCPより自動的に割り振られます。サーバーやネットワークプリンタを利用する場合は固定IPアドレスの申請が必要になります。

教員の居室、事務所以外はWEB認証での利用となります。
もし、教員の居室、事務所でWEB認証の場合は、別途ご連絡ください

ブラウザについて

特に設定の必要はありません。
プロキシの設定を変更している場合は、自動的に検出するにしてください。

16

ウイルス対策ソフトについて

ウイルス対策ソフト

お知らせ

ESET Endpoint Antivirusにてバージョンについての通知がある場合、サーバーのほうから更新をかけておりますが、タイミングではバージョンアップができない場合があります。その場合は、一度アンインストールして下記の最新バージョンでのインストールを実施してください。

また、一部のSSLサイト（「https://」で始まるWebページ）が表示できないといったことがある場合は、下記サイトを参考にしてください。
https://eset-support.canon-tsj.jp/faq/show/faq017?site_domain=default
「知らない不具合・トラブル」がある場合は下記サイトFAQも参考にしてください。
https://eset-support.canon-tsj.jp/category/show/0?site_domain=default

ウイルス対策ソフトについて

本学ではメールやWebからのウイルス感染を防ぐ専用の装置を導入していますが、各パソコンにもウイルス対策ソフトを導入して適切に適用してください。かつ定期的にWindows Update/パッチなどを行うようにしてください。

ウイルス対策ソフトとしてESET Endpoint Antivirusが利用できます。

また各人でも、ウイルス定義ファイルの更新を行うことや定期的なウイルススキャンをおこなってください。

大学が用意したウイルスソフト以外のウイルスソフトを利用する場合は、自己管理とします。利用範囲として、学内で利用するパソコンに限りです。

特定の用途など大量にインストールが必要とする場合は、各自でご用意をお願いします。

ライセンス管理方法が以前のソフトとは異なる関係から、6か月以上学内LANに接続していないパソコンについては、ライセンス削除を行います。もし学内で利用するパソコンでライセンスが利用できない旨の通知となりましたら再インストールをお願いします。

ESET Endpoint Antivirus 新規インストール (学内のみ)

[新規インストールファイル \(ver.9\)](#)
[新規インストール手順書](#)

ESET Endpoint Antivirus 切り替えインストール (学内のみ)

ウイルス対策ソフトが2021年5月よりESET Endpoint Antivirusに変更となっております。ESET Endpoint Antivirusに移行をお願いします。
過去のSymantec Endpoint Protectionから経理のESET Endpoint Antivirusに切り替えるファイルと手順は下記の通りです。
[切り替えインストールファイル \(ver.9\)](#)
[切り替えインストール手順書](#)

統計解析ソフトについて

統計解析ソフト

IBM SPSS Statistics ライセンスについて

同時ユーザー (Concurrent User) ライセンスにて契約しております。学内LANに接続しているコンピュータについてはインストール・利用可能です。ただし同時に接続できるユーザーは途中で下記のようになります。

| | | |
|------------------------------|--------|------|
| IBM SPSS Statistics Base | 25ユーザー | 同時接続 |
| IBM SPSS Regression | 3ユーザー | 同時接続 |
| IBM SPSS Exact Tests | 3ユーザー | 同時接続 |
| IBM SPSS Advanced Statistics | 2ユーザー | 同時接続 |

利用するには、学内LANに接続されている必要があります。アドイン(オプション)のライセンスは、最初に接続したユーザーが利用できます。コネクティブライセンスでネットワークライセンスを申し出す方法もありますが現在はサポートしておりません。

Ver.28が利用できるようになりました。ただしVer.27以降2204版の補修は終了し460版のみとなります。Ver.27もそのまま利用できますがVer.27の補修のインストールはサポートしておりません。Ver.27を最新のバージョンのVer.は、2022年3月のメンテナンスで利用できなくなりましたので新しいVer.に移行をお願いします。Ver.26を最新のバージョンのVer.は、2022年9月のメンテナンスで利用できなくなりましたので新しいVer.に移行をお願いします。

IBM SPSS Statistics 利用手順書<学内のみ>

- ・[IBM SPSS Statistics について](#)
- ・[インストール方法](#)
- ・[ネットワークライセンスでの利用方法](#)
- ・[使用にあたっての注意事項](#)

IBM SPSS Statistics ダウンロード<学内のみ>

- ・[SPSS_Statistics_28 Windows版 \(32bit版\)](#)
- ・[SPSS_Statistics_28 Mac版 \(64bit版\)](#)

対応OS等

- ・[詳細はこちら \(詳細サイト\)](#)

学内で遠隔講義を行う際の留意点

ZOOMなどについてはICT教育センターでは管理外となりますが、インターネットやネットワークを利用する上で学内で遠隔講義を行う際の留意点をまとめたものになります。

ZOOMは各自が自分のパソコンを使って利用しており、無線ルータなども部屋内で独自に設定されているケースが多く、それらのパソコンやネットワーク機器の性能、インターネットへの接続状態、並びに、バックグラウンドで走るソフトウェアなど、動作が不安定となる要素が沢山ある中で、それらがすべてブラックボックスの状態での原因追及は不可能に近く、絶対的で具体的な解決策を提案することはできません。

①学内で無線と有線の両方が使える環境にある場合、可能な限り有線を使ってください。 **改行を修正してください。**

最近の無線ルータは、有線とほぼ同程度のスピードで処理ができるようになってきていますが、速度と安定性の両面で有線の方が常に有利です。

②有線を使う場合、パソコンの無線接続をOffにしてください。

ノートPCは無線が標準装備されています。有線と無線の切り替えは、負荷がかかり、不安定要因となります。

③ネットワーク構成は可能な限り、シンプルなものに改める。

入室や研究室において、有線や無線のルータ (HUB) を複数個使って環境整備をされている先生が沢山おられると思います。複雑になればなるほど機器の故障や古い機械がありそこが原因で遅くなることも想定されます。

④利用しているパソコンのウイルスチェックソフトが最新であるか、使用しているOSやドライバが最新であるかなどをチェックする。 **字下げを修正してください。**

ウイルスに感染すると、不要な通信の為にネットワークに負荷がかかることが想定されます。OSやドライバの不具合で本来の性能が出ない場合もあります。

⑤有線による接続ができない場合、個人の無線LANアクセスポイントを用意して利用する場合、5GHz帯域のみを利用するように設定してみる。

通常は、2.4GHzと5GHzを自動切り替えで接続可能です。ただ2.4GHz帯の電波は安価であることから奥にたくさん家電機器で利用されています。干渉が起ると信号が途切れるので、避けた方が無難です。具体的な方法は機器によって異なりますのでメーカーに問い合わせください。

ZOOMについてはICT教育センターでは対応できませんので教務課に問い合わせください。

NASの利用について

NASはネットワークに接続されたハードディスクです。NASと直接接続されてなくても、ネットワークで接続されていれば利用でき、便利な面もありますが、リスクもあります。

ネットワークに接続されているということは、設定次第では、他の方が利用できる可能性もあるということです。

過去には設定が誤っていたことで個人情報や漏洩した事例があり、注意が必要です。

最近のNASは利便性を高めるため、インターネット上からNASにアクセスできる設定となっている場合があります。

さらにアクセス権限を適切に設定していないために、情報漏洩が起きてしまうことがあります。

学内でもあっても学生や本来見えてはいけない方が、設定次第では閲覧・改ざんすることが可能になります。

NASにもOSが搭載されており、このOSのセキュリティホールからウイルスに感染するといったことも想定されます。OSのアップデートやウイルスによって、設定が変更され、秘密情報が漏洩した事例、アクセスできなくなった事例などがあります。

またハードディスクを安全に運用できるRAIDの構成を設定することも可能ですが、NASのRAIDは、本来のサーバーのRAIDより壊れやすく、なおストレージの容量も増えているので、再構成に何十時間かかる事例もあります。RAID5でもあっても同様です。

さらにデータを手勝手に暗号化されて使えない状態にするランサムウェアウェアに感染することでネットワークドライブの中身を利用できなくなるといった事例も学内でも起きています。このような事例からパソコンのハードディスク (HDD/SSD) のバックアップなどはUSB接続などのローカルのHDD/SSDのほうが安全です。

以上、各学科、各課、個人でNASを利用する場合には、下記の点に注意して下さい。

- ・コンピュータ、ネットワーク、情報セキュリティの高度な知識の修得
- ・日々のNASに関する動作のチェック、設定の確認
- ・NASには、漏洩されると困るデータを置かないこと
- ・著作権等の違法性のあるデータを保存しないこと

その他パソコンの共有フォルダやネットワークにつながる機器 (プリンタ、コピー、メディア) 等のも同様になります。

説明内容

■ICT教育センターについて

ICT教育センターについて、ホームページ

■認証サーバーについて（ユーザー名とパスワード）

認証サーバー（ユーザー名とパスワード）

■ネットワークについて

ネットワークの概要、接続方法、注意点、ネットワーク設定
ブラウザ、ウイルス対策ソフト、統計解析ソフト
学内で遠隔講義を行う際の注意点、NASの利用について

■Microsoft 365（メール等）について

Microsoft 365について、Webメール、メーリングリストについて、
迷惑メール、フィッシングメールアカウントの不正利用および漏洩について
アカウントの乗っ取りについて

■コンピューター実習室/講義室のマルチメディア/その他

コンピューター実習室について、コンピューター実習室/図書館/講義室の
パソコンについて、学内LAN（学内ネットワーク認証サービス/無線LAN）
IEEE 802.1X認証の接続方法について、公衆無線LAN、
ICT教育センター申請システムについて、講義室のマルチメディアについて、問い合わせ 21

Microsoft365について

鈴鹿医療科学大学HP > 附属施設 > ICT教育センター > 手順書

Microsoft 365（メール等）について

はじめに
メールボックスサイズと送受信メッセージサイズについて
パスワードを変更するには
卒業・退学・移動のときは？
重要データのバックアップのお願い
Microsoft 365（旧称Office365）へのサインイン
Outlookオンライン（Webメール）へのアクセス
メールの受信
メールの送信
迷惑メールの自動分類
迷惑メールの任意アドレス登録
メールの分類
アドレス簿の参照・登録・インポート
スマートフォン・タブレットからの利用
他のメールソフトの利用
転送設定



はじめに

本学では、Microsoft 社のクラウドサービスである Microsoft365 を 2021 年 3 月に学内に導入し、2022 年 3 月より、鈴鹿医療科学大学HP、附属施設、図書館、保健衛生学部の教職員のみならず、本学のメールアドレスを持つ学生・教職員であれば、誰でも無料で利用することができました。

2023（令和5）年より順次、本学で採択の範囲で利用できる下記のサービスが利用できるようになります。サービスとしては、SharePoint、Teams、onenote、Forms、Stream、Power Automate、Power Apps、Viva、School Data Sync Yammer 等です。ただし、このページに記載しているサービスは必ずしも利用可能なサービスではありませんので、ご注意ください。

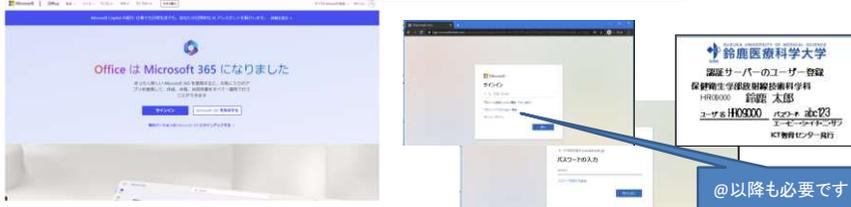
Microsoft365は、多くの方向によって馴染み深いOffice製品とは少し異なるものです。コンピュータリテラシーが低い方にも、Office製品とは異なる点があります。また、従来のOffice製品とは異なり、Webブラウザから利用可能なサービスが提供されています。その一方で、従来のOffice製品とは異なり、Webブラウザから利用可能なサービスが提供されています。その一方で、従来のOffice製品とは異なり、Webブラウザから利用可能なサービスが提供されています。

Webアプリの利用はユーザーごとに管理されるため、大学の情報はもちろん、自宅のパソコンや個人のスマートフォンからも利用可能です。Webブラウザからアクセス可能なサービスは、他のサービスと同様に必要に応じて、個別にインストール・更新が必要となります。

Office 365 Education は学内で提供されるサービスです。セキュリティやプライバシーについては十分に考慮されていますが、学内のシステムやサービスと連携する場合は、必ずしも十分なセキュリティ対策を講ずる必要があります。また、学内のシステムやサービスと連携する場合は、必ずしも十分なセキュリティ対策を講ずる必要があります。

Webメールの利用について （ Microsoft365（旧称Office365） ）

サインインページ (<https://www.office.com/>)



- 具体的な利用方法については、ICT教育センターのホームページの手順書などを参考にしてください。
- メールアドレスは、各人ごとに割り当てられています。
教員の場合：ユーザーID@suzuka-u.ac.jp 例：abc@suzuka-u.ac.jp
- 各自でMicrosoftアカウント利用している場合は、大学のものを利用する際はプライバシーモード（シークレットモード）で利用してください。
- Microsoft365（旧称Office365）サインイン後のパスワード変更画面ではパスワード変更できませんので、ご注意ください。ICT教育センター申請システムで申請をしてください。

Microsoft365（旧称Office365）について

■ スマートフォン・タブレットからの利用

スマートフォン・タブレットから、Microsoft365を利用する事が可能です。
Webブラウザ（Google Chrome / Safari）からこれまで同様の手順にてアクセスする事も可能ですが、Microsoft Outlook アプリ(AppStore・Google ストアから取得)や、各 OS 標準のメールアプリにて利用することも可能です。
ICT教育センターでは個別の端末のサポートはできませんので、設定方法等については、それぞれのアプリのヘルプ等を参照して設定を行ってください。基本的に、Office 365・Exchange Online・Outlook Online に準拠したアプリケーションであれば、利用が可能です。

■ 他のメールソフトの利用

普段利用しているメールソフトから Microsoft365 のメールを読み書きすることもできます。ただし、メール受信設定、メール送信設定は、全学メールサービスのものではなく、下記の Microsoft365 のものに置き換える必要があります。

- メール受信設定
- ホスト名 outlook.office365.com
 - プロトコル IMAP over SSL（ポート 993）
- メール送信設定
- ホスト名 smtp.office365.com
 - プロトコル SMTP over TLS（ポート 587）

メーリングリストについて

本学には、メーリングリストのサービスを用意しています。メーリングリストには全学レベル、学科教員レベル、学科学生・個人レベルなものがあります。メーリングリストの登録・削除については、各メーリングリストの管理者に問い合わせください。

| MLリスト名 | 名称 | 管理者 |
|-----------------------|------------|-----|
| kyoin@suzuka-u.ac.jp | 教員メーリングリスト | 庶務課 |
| svyoin@suzuka-u.ac.jp | 職員メーリングリスト | 庶務課 |

| MLリスト名 | 名称 | 管理者（各学科の担当者） |
|----------------------|------------------------|----------------|
| hr@suzuka-u.ac.jp | 放射線技術科学科メーリングリスト | 放射線技術科学科 |
| hn@suzuka-u.ac.jp | 医療栄養学科メーリングリスト | 医療栄養学科 |
| ht@suzuka-u.ac.jp | リハビリテーション学科メーリングリスト | リハビリテーション学科 |
| hw@suzuka-u.ac.jp | 医療福祉学科メーリングリスト | 医療福祉学科 |
| ha-m@suzuka-u.ac.jp | 鍼灸サイエンス学科メーリングリスト | 臨床工学科 |
| tc@suzuka-u.ac.jp | 臨床工学科メーリングリスト | 鍼灸サイエンス学科 |
| ti-m@suzuka-u.ac.jp | 医療健康データサイエンス学科メーリングリスト | 医療健康データサイエンス学科 |
| pp@suzuka-u.ac.jp | 薬学科メーリングリスト | 薬学科 |
| nn@suzuka-u.ac.jp | 看護学科メーリングリスト | 看護学科 |
| he@suzuka-u.ac.jp | 救急救命学科メーリングリスト | 救急救命学科 |
| byoin@suzuka-u.ac.jp | 桜の森病院メーリングリスト | 桜の森病院 |

上記とは別に学科学生、卒研単位、研究単位等でメーリングリストの申請を行いたい場合は、メーリングリスト申請書を提出してください。

*教職員⇒メーリングリストの送信容量：1OMB

臨床検査学科についても申請見込み、別途配布される教職員アドレス帳についても参考にしてください

25

迷惑メール、フィッシングメール、アカウント不正利用および漏えいについて

皆様に届いた迷惑メール、フィッシングメールなどから、皆様のメールアドレスが不正メールに使用されたり、パスワードの漏えいの可能性がある事例が本学でも起きております。

本学では情報セキュリティ対策は行っていますが、完全に防ぐことは難しく、以前に比べ、迷惑メールが頻りに届き、その記載内容も巧妙になってきています。

例えばGoogle、Apple、Facebook、Amazon.com、Microsoft、日本郵便、宅急便、各県庁など多くの方が利用されるサービスをかたって迷惑メール、フィッシングメールとして送信される事例があります。そこで、以下のような事例に遭遇した場合には、お手数をおかけいたしますが、皆様方で対応していただくをお願いいたします。

- ・知らない人からのメールについては、原則、読まずに無視、又は、破棄することを徹底してください。
- ・特に、知っている人からのメールであっても添付ファイルや文中にあるリンクは不用意にクリックしないでください。
- ・また、ウイルスに感染する危険性が高いことを認識し、日ごろから頻りにバックアップをとるように心がけてください。
- ・アカウントのパスワードは定期的に変更する。

本学では、ファイアウォールでウイルス対策を行い、Microsoftの迷惑メール自動分類や自動検疫を行っています。しかし、これらは、ウイルスパターンファイルを見て、その中に該当する事項があれば怪しいとして、はじく仕組みであり、パターンファイルに登録されていないものはすり抜けてきます。

下記の4つは、ネットワークを利用するものにとつての基本ルールだと考えて対処してください。誤ってウイルスに感染・アカウントの乗っ取りなどになってしまった場合は、1.LANケーブルを取り外すなどの措置により、ネットワークから切り離す。
2.影響範囲や問題を特定する。
3.リカバリ方法や対策を講ずる。
4.アカウントの乗っ取りの場合はパスワードを変更する。場合によってはアカウント名を変更するが一般的手順ですが、わからない場合はICT教育センターに相談してください。

ICT教育センターにはスタッフがいないので、リカバリ作業をすることはできませんが、相談には応じます。

26

アカウントの乗っ取りについて

サーバーのログの解析結果から本学が発行しているアカウントが不正に乗っ取られた形跡がありました。普段利用しているアカウントと使用していないアカウントで、一部のアカウントやパスワードがダークサイトに流出した可能性があります。

また年度末年度始めは、新たに採用された教職員や退職される教職員など、人の入れ替わりが多い時期です。学科や課などの組織で使用するアカウントは管理者が不明確になる場合があります。アカウントはMicrosoft365に同期されており、様々なサービスが利用できます。

そのため、アカウントを適切に管理しないと本学のみならず外部にも大きな影響がある場合もあり、アカウントのパスワードの定期的な変更、不要なアカウントの削除申請等のアカウントの管理を適切にしてください。

27

説明内容

■ICT教育センターについて

ICT教育センターについて、ホームページ

■認証サーバーについて（ユーザー名とパスワード）

認証サーバー（ユーザー名とパスワード）

■ネットワークについて

ネットワークの概要、接続方法、注意点、ネットワーク設定
ブラウザ、ウイルス対策ソフト、統計解析ソフト
学内で遠隔講義を行う際の注意点、NASの利用について

■Microsoft 365（メール等）について

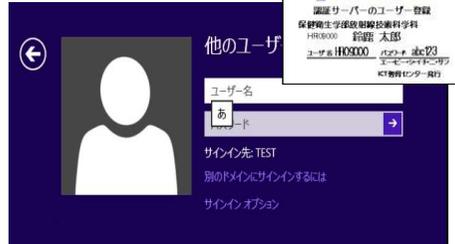
Microsoft 365について、Webメール、メーリングリストについて、
迷惑メール、フィッシングメールアカウントの不正利用および漏洩について
アカウントの乗っ取りについて

■コンピューター実習室/講義室のマルチメディア/その他

コンピューター実習室について、コンピューター実習室/図書館/講義室の
パソコンについて、学内LAN（学内ネットワーク認証サービス/無線LAN）
IEEE 802.1X認証の接続方法について、公衆無線LAN、
ICT教育センター申請システムについて、講義室のマルチメディアについて、問い合わせ

28

コンピューター実習室/図書館/講義室 パソコン



- ・パソコンを起動し、次の画面でユーザー名（学生番号）とパスワードを入力します。**@以降は不要です。**
- ・利用が終了したり、席をはなれる場合は、**必ずシャットダウン**
- ・データは、サーバーに保存しておく、どの場所、どのパソコンからでも利用できます。
- ・仮想デスクトップ環境で動作し、ソフトなど主要な部分はサーバーで実行されることや教職員・学生も利用することもあり、再起動したら、環境がリセットされます

利用の仕方・注意点については後で説明 29

コンピューター実習室/図書館/講義室について



ICT教育センター

コンピューター実習室/図書館/講義室

コンピューター実習室利用について
 コンピューター実習室/図書館/講義室/パソコンの利用について
 コンピューター実習室のプリンタについて
 コンピューター実習室/図書館/講義室/パソコン一覧
 大学ファイルサーバー（共有フォルダ）の利用について
 パスワード変更方法について

コンピューター実習室利用について

実習室は、講義や実習などで複数の人が共有して利用する場所です。よって下記のようなおことに注意してください。

- 他人の迷惑となるような行為は行わない
- 利用時間は、平日 9:00~19:00までです
- 講義等で使用していない限り、利用可能です
- 土曜日、休、祝日、休校等は利用できません
- 図書館については図書館利用およびスケジュールに従ってください
- 飲食厳禁
- 椅子の整理整頓を行う
- 勝手に他のソフトをインストールしたり、設定変更を行わない
- プリンタには印刷枚数の制限があるので、その範囲で利用すること
- ICT教育センターのホームページを見ること
- 情報ネットワーク利用規定(学生要覧)を遵守すること
- 電源を落れるときはシャットダウンすること

講義等で利用していない限りは利用可能
利用状況はA-portalで確認

コンピューター実習室/図書館/講義室について

コンピューター実習室/図書館/講義室/パソコンの利用について

コンピューター実習室/図書館/講義室/パソコンは仮想デスクトップ環境で動作し、ソフトなど主要な部分はサーバーで実行されます。全体の利用を想定し各人が設定変更をおこなうことをさけるためシャットダウン時、ログオフ時、再起動時、初期の設定にもとるよう設定されています。

また仮想デスクトップの切替時は、5分間設定が保持されます。誤って切断してしまった場合、再度接続すれば、そのまま利用できます。

Active Directoryでの統合認証においてユーザレベルでの管理もおこなっており、茶室などは違う環境になっております。よってユーザーがソフトウェアをインストールしないでください。また、デスクトップなどに保存したデータも削除されます。

保存にあたっては、大学ファイルサーバー(共有フォルダ)やUSBフラッシュメモリ等をご利用ください。

●利用開始の注意点

パソコンの電源ボタンを押してシステムを起動させます。サインイン(ログイン)すると、VMware View Clientというソフトが動き、仮想デスクトップにも自動でサインインします。同じような画面が2回表示されますが、エラーではありません。

また、誤って切断してしまった場合はVMware View Client をクリックしてください。

●利用できるソフトウェア

利用できるソフトについてはICT教育センターのHPで確認してください。

講義パソコンにおいては、2016年春期より物理側でもMicrosoft officeが利用できます。

ただし、デスクトップおよびドキュメントに保存されたデータは、再起動時はシャットダウン時に削除されます。仮想デスクトップを利用しない場合は、そのまま切断してください。

講義・実習等で利用される場合は半期に一度、設定やソフトの管理を調査し、設定しています。詳細は、別途アナウンスまたは問い合わせください。(教職員のみ)

●利用終了の注意点

終了時は常設PCの電源ボタンを押して終了してください。

もしくは、仮想デスクトップをxで切断した後、物理側のデスクトップにあるシャットダウンアイコンで終了することもできます。

利用終了時は、仮想、物理側両方とも終了してください。

*教卓制御パネルの電源OFFと講義室/パソコンの電源は運動していません。

CD-ROM/DVDの利用について
VMware View Clientのタスクバーについて
講義室/パソコンのZoomの対応について

動画モードについて
講義室 画像配信システムについて

コンピューター実習室/図書館/講義室について

後期(2024年8月頃)からはプリンタサーバが停止するため、ICT教育センターのプリンタは利用できません。

8月以前でもプリンタが故障した場合は、保守・修理等ができないため、順次撤去する予定です。

別のサービスや代替などについては、関連部署などから連絡の予定です

コンピューター実習室のプリンタについて

ICT教育センターでは情報リテラシー教育をはじめとする科目や自習目的のためコンピューター実習室を整備しております。またプリンタを制限枚数以内であればプリントアウトすることが可能です。

通常、コンピューターを利用する講義・実習・演習などを支援する目的として整備されており、それ以外の目的で利用や制限枚数を超過して印刷する場合は、有料プリンタサービスの利用や各自・各研究室でお願いします。

プリンタの印刷枚数制限(半期)300ポイントになります。

半期は4月~8月、9月~3月となります

なお利用できる用紙は、A4サイズ、カラー/モノクロのみになります。これ以外の用紙サイズは、紙詰まりの原因になりますので利用しないでください。

印刷枚数確認は、印刷枚数確認ページ(学内専用)で確認してください。

<http://prsv.sz2103.suzuka-u.ac.jp/login>

ポイントについては、モノクロは1枚1ポイント、カラーは1枚5ポイントとして計算されます。両面印刷をした場合のポイントはモノクロで説明すると、表裏が1枚1ポイント、裏面はその半分の1枚0.5ポイントです。表のみを印刷し、裏が白紙の場合は1ポイントですが、裏に何枚印刷があると裏面1枚で1.5ポイントとなります。カラーの場合は、裏が1枚5ポイントで裏がその半分の1枚2.5ポイントです。

トナー・紙の予備は全体でも交換・補充していますが、トナー・紙が切れて利用できない場合、即座にも書いてありますので各自交換・補充してください。どうしても難しい場合は別のプリンタで印刷してください。

また紙は、部屋から持ち出さないでください。

●コンピューター実習室の代替プリンタ機能について

実習室で2台プリンタがある場所(千代橋キャンパスの研究厚生棟、実験実習棟、白子キャンパスの情報演習室)で代替プリンタの機能が利用できます。

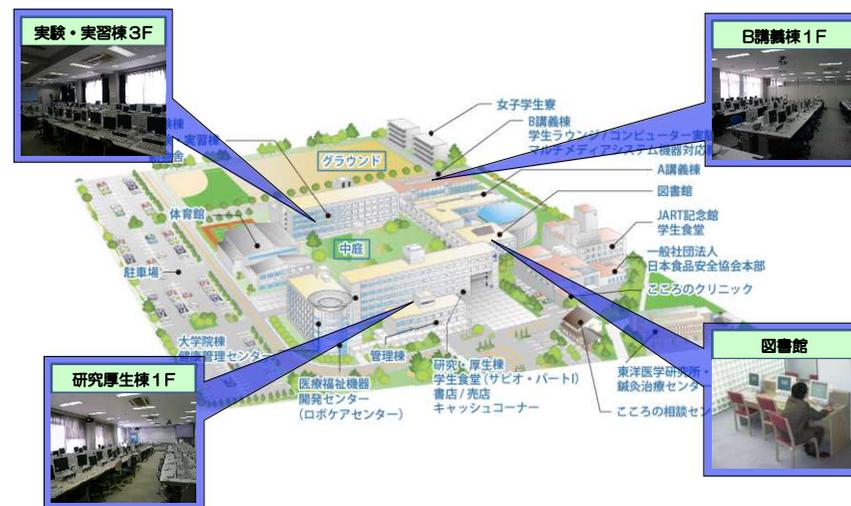
代替プリンタは、プリントできないと判断する条件の時、もう1台のプリンタに出力されます。具体的には、印刷しようとした時、紙詰まり、オフライン、トナー切れ、カバーが開いている、電源オフ、用紙切れ等です。ただし印刷途中でエラーの場合は、代替プリンタ機能は実行しません。不審であればプリンタ本体の「プリンタ中止」のボタンを押して再度印刷等を行ってください。

コンピューター実習室/図書館/講義室について

| コンピューター実習室/図書館/講義室パソコン一覧 | | | |
|--|-------------------|--------|--------|
| ●コンピューター実習室/図書館/講義室パソコン一覧 | | | |
| キャンパス | 部署名/部屋番号 | パソコン台数 | プリンタ台数 |
| 千代崎 | 研究生生棟1Fコンピューター実習室 | 71 | 2 |
| | 実験実習棟3Fコンピューター実習室 | 60 | 2 |
| | B講義棟1Fコンピューター実習室 | 77 | 2 |
| | 1号館2F情報実習室 | 76 | 2 |
| 白子 | 3号館2F実習室 | 20 | 1 |
| ●図書館/パソコン一覧 | | | |
| キャンパス | 部署名 | パソコン台数 | プリンタ台数 |
| 千代崎 | 図書館 | 10 | 1 |
| 白子 | 図書館 | 10 | 1 |
| ●講義室/パソコン一覧 | | | |
| キャンパス | 部署名 | パソコン台数 | プリンタ台数 |
| 千代崎 | 各講義室 | 28 | — |
| 白子 | 1号館各講義室 | 7 | — |
| 白子 | 3,4,6号館各講義室 | 25 | — |
| ●コンピューター実習室/図書館/講義室ソフトウェア一覧について (2023年 後期) | | | |
| インストールソフト一覧 | | | |

故障やメンテナンス等による台数が増えることはあります。 33

コンピューター実習室/図書館の場所 (千代崎キャンパス)



コンピューター実習室/図書館の場所 (白子キャンパス)



コンピューター実習室/図書館/講義室について

【大学ファイルサーバー (共有フォルダ) の利用について】

- ・本サービスは学内LANでのみ利用できます。
- ・「鈴鹿医療科学大学情報ネットワーク利用規程」に定められた事項を遵守し、大学ファイルサーバーに関して、課、学科、各人の責任において運用してください。
- ・ネットワークで利用できるファイルサーバーですので、適性のあるものは、絶対に置かないでください。
- ・容量には上限がありますので、共有フォルダに保管しなくても良いファイルや不要なファイルは、速やかに削除してください。ハードウェアの仕様上、容量の上限を変更することはできません。
- ・学科・部以下のフォルダについては、さらに詳細なセキュリティ権限設定を行うことが可能です。コンピュータ実習室およびドメイン (S22103) に参加しているコンピュータのみ設定が可能です。但し、既存にある administrator 権限まで削除されると、サーバー復旧時にモーターは戻りません。
- ・ICT教育センターでは、講義棟でのデータ削除等の権限サービスは行っていません。
- ・一般的なファイルサーバーより信頼性は高いといえ、万が一のため、課、学科、各人でバックアップは必ずとっておいてください。ICT教育センターでサーバーのバックアップは行いません。
- ・講義棟の講義室で利用する際に、自動でドライブが割り当てられません。この場合は、手動で割り当ててください。マイコンピュータに共有フォルダが表示されない場合は、利用手順でドライブを割り当ててください。
- ・教職員の場合、認証サーバーのユーザー登録とは別に申請をしてください。学科・課の判断により大学ファイルサーバー (共有フォルダ) のユーザー登録・削除を行ってください。新規での登録の場合、認証サーバーのユーザー登録申請書が承認されたのも、申請をしてください。非課勤の先生は登録していません。非課勤の先生に対して利用を許可が認められる場合は、各学科に任せます。

●Hドライブ (学生共有フォルダ)

所属学科の学生、教員が利用できます。学生は、実習室のパソコンにログインしたとき、所属学科の学科共有フォルダがマイコンピュータのドライブ、Hドライブに割り当てられ利用できます。フォルダによっては対応科目しか利用できない場合や読み込みのみの場合もあります。

【利用の用途として】

- ・教員からの資料提供や学生から課題提出等
- ・ゼミなど複数人で行う場合も便利
- ・個人的なものを置く場所ではない (一時的に利用した場合は、利用した後削除)

●Zドライブ (個人フォルダ)

- ・認証サーバーに登録されている各ユーザーが利用できます
- ・実習室のパソコンにログインしたとき、各ユーザーの個人フォルダがマイコンピュータのドライブ、Zドライブに割り当てられ利用できます。
- ・実習室、図書館で利用する場合のホームページの表示に切り替えられています。

【利用の用途として】

- ・講義などで作成したファイルなどを保存

コンピューター実習室/図書館/講義室について

パスワード変更方法について

- ・パスワードは、絶対他人に教えないこと
 - ・パスワードは、自己管理すること・パスワードは、定期的に変更すること
- コンピューター実習室/図書館/講義室/パソコンで変更可能
- ・万一、パスワードを紛失した場合は、再発行手続きを行うこと 但し、再発行の手続きに1週間程度かかる場合があります

■パスワードの変更方法

1. コンピュータ実習室/図書館/講義室のパソコンでログオンする。
2. Ctrl + Alt + Deleteキーを押す。
3. [パスワードの変更]ボタンをクリックする。
4. 古いパスワードと新しいパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックする。

※パスワードの変更は、学内PCからのみ可能です。Microsoft365 (旧称 Office365) サインイン後のパスワード変更画面ではパスワード変更できませんので、ご注意ください。

学内LAN (学内ネットワーク認証サービス/無線LAN)

学内LAN (無線LANとWEB認証)

学内LAN (有線、無線) は、一般的なインターネットとは異なります。一般的なものよりはセキュリティが高く構成されています。そのため利用できないサービスもあります。詳細はホームページ手順書ネットワークを確認してください。

■学内ネットワーク認証サービス (IEEE802.1X認証/Web認証)

学内ネットワークを利用する際、特定の方以外が利用する場合、認証をしたらうで利用できます。認証については、無線LANにおいては、主に IEEE 802.1X認証を利用していただき、有線LANについてはWEB認証を利用してください。

ただし、両方とも認証については、パソコン・スマートフォン等のOSのアップデートにより不具合やセキュリティレベルがあることで利用できない場合がありますので、注意して下さい。

●IEEE 802.1X認証

認証サーバーのユーザー名とパスワードで利用する認証方式です。
[IEEE 802.1X認証の接続方法について](#)

●WEB認証

有線LANや172.16.*、*系で固定IPを取得している方、共用パソコンやIEEE 802.1X認証をできないものだけに利用する形にしてください。

ブラウザ起動時にWEB 認証にて認証サーバーのユーザー名とパスワードを入力してください。一度ログインすると認証は12時間保持されますがネットワークを切断した場合の認証が求められる場合は、再度認証をお願いします。

WEB認証が利用できる場所でWEB認証画面が表示しないや証明書エラーが表示される場合は、下記アドレス入力してWEB認証画面が表示させることができます。

http://10.10.10.10/
 特にmacOSでの有線接続時にこのような現状を確認しております。またブラウザやOSのアップデートでも可能性があります。

また各人のパソコン、スマートフォン等の機器を学内LANに接続する場合は、セキュリティ対策をして接続してください。

スマホ、パソコン等との無線LAN接続 IEEE 802.1X認証の接続方法について

The image contains four screenshots illustrating the connection process for IEEE 802.1X authentication on different operating systems:

- Windows用 (Screenshot 1):** Shows the Windows network settings window where the user selects the wireless network and chooses to connect using IEEE 802.1X authentication.
- MacOS用 (Screenshot 2):** Shows the macOS network settings window where the user selects the wireless network and chooses to connect using IEEE 802.1X authentication.
- iOS (iPhone/iPad) 用 (Screenshot 3):** Shows the iOS network settings window where the user selects the wireless network and chooses to connect using IEEE 802.1X authentication.
- Android用 (Screenshot 4):** Shows the Android network settings window where the user selects the wireless network and chooses to connect using IEEE 802.1X authentication.

学内無線LAN (学内ネットワーク認証サービス/無線LAN)

無線LANについて

無線LANのSSIDは下記の通りです。

- 01_SUMS⇒IEEE 802.1X認証 (5GHz)
- 02_SUMS⇒IEEE 802.1X認証 (2.4GHz)
- 03_SUMS⇒WEB認証 (5GHz/2.4GHz)

学内無線LANで固定IPアドレスを利用している方はSSID「03_SUMS」の切り替えをお願いします。SSIDの01_SUMS (5GHz) で接続した方が、通信が安定します。01_SUMSが表示されない場合は、2.4GHzしか利用できないので、02_SUMSを利用してください。

03_sums(WEB認証)のパスワードは、A-portal経由で連絡します。もしA-portalを利用できない場合は、関係部署で確認をしてください。

また無線LANを利用する場合は、すべての無線LAN機器が更新されていないことや無線通信のものが様々な原因で利用できない場合が短く考えられます。実施する前には、事前に検証等を行ってください。特に、ZOOMやYouTube等を使用し、各人のパソコン・スマートフォンを利用して映像の送受信を教室で一斉に行う場合など、大量の通信を行う場合は、保証ががたります。

つながりくい場所がありますので電波が強い場所で利用してください。一斉に利用すると利用できない場合があります。利用するタイミングなどをずらしてください。

無線LANの利用できる場所

- 千代崎キャンパス
 - ・各講義室
 - ・コンピュータ実習室
 - ・B 講義棟ラウンジ
 - ・学生ホール
 - ・学生食堂
 - ・図書館
 - ・学生ラウンジ
 - ・JART1Fホール
- 白子キャンパス
 - ・1号館(各講義室、情報演習室)
 - ・3号館(各講義室、自習室)
 - ・4号館
 - ・6号館(各講義室、ラウンジ)
 - ・学生食堂、図書館、学生ラウンジ、講堂(一部)

公衆無線LAN

au Wi-Fi(公衆無線LAN)

KDDI 株式会社の「au Wi-Fi SPOT」が学内に設置されました。
同サービス加入者はこのアクセスポイントを使ってインターネットに接続できます。

●利用場所

【千代崎キャンパス】

- ・学生食堂(研究厚生棟)
- ・学生ホール(研究厚生棟)
- ・学生ラウンジ(B 講義棟)

【白子キャンパス】

- ・食堂(サビオパートII 白子地上)
- ・談話室(1号館1階)
- ・講堂(ホワイエ)

●利用方法

au Wi-Fi SPOT の利用法などは

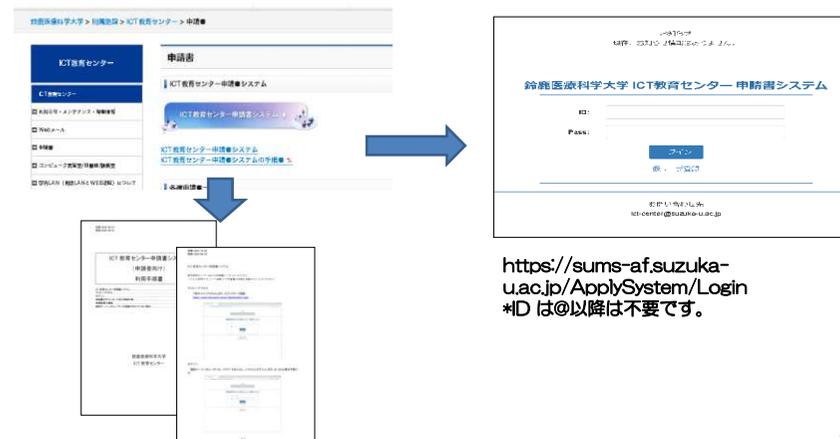
<http://www.au.kddi.com/mobile/service/smartphone/wifi/wifi-spot/>
をご覧ください。

au契約端末(スマートフォンなど)は
申込み不要で無料でインターネットに
接続できます。

docomo Wi-Fiサービスの提供終了
サービス提供終了：2022年3月31日

ICT教育センター申請書システム

ICT教育センターに関する申請書はICT教育センター申請書システムで電子申請を利用して
ください。学外からでも利用できます。
印鑑が必要な書類は、押印後、PDFなどの電子ファイルに変換し、添付し、申請してください。
所属学科長や所属長印鑑がないままについては処理できませんのでご了承ください。



講義室マルチメディアについて

ICT教育センター管理下にあるコンピューター実習室ならびに講義室内のマルチメディアの情報処理
装置・設備機器になります。講義室によっては管理外の場所もあります。

鈴鹿医療科学大学 ICT教育センター マルチメディア施設の機器利用規程やICT教育センターのホーム
ページの手順書を参照していただき利用してください。

講義室マルチメディアについて

- ・講義室マルチメディア説明書(全体的)
- ・講義室マルチメディア説明書(白子1号館用)
- ・プレゼンマウス(ELAP2)説明書
- ・レーザーポインタ(ELP-G10)説明書
- ・レーザーポインタ(ELP-G30)説明書
- ・書画カメラ(MO-1W)説明書
- ・Blu-ray(DMP-BD77)説明書 千代崎
- ・Blu-ray(DMP-BD79)説明書 白子、千代崎
- ・Blu-ray(DMP-BD85)説明書 白子、千代崎
- ・講義室画像配信システムについて
- ・講義室パソコンのZoomの対応について



トラブル即時対応については、対応が困難な場合がありますのであらかじめご了承ください。

問い合わせ(トラブル・故障・ご意見)

- ・ICT教育センター：ict-centet@suzuka-u.ac.jp
- ・作業依頼書/要望書の提出をお願いします。

問い合わせ

■ICT教育センターが管轄する部分の問い合わせ

ICT教育センターのホームページ参照

メール問い合わせ ict-center@suzuka-u.ac.jp

千代崎キャンパス：庶務課

白子キャンパス：白子事務部

■教務課システムについての問い合わせ

(A-Portal、learningBOX、Zoom)

教務課

白子事務部白子教務課

■講義に関すること 講義担当教員